



千葉県防災士連絡会会員から、 日本防災士会の理事が2名選任されました

令和3年6月19日に、特定非営利活動法人日本防災士会通常総会が開催され、千葉県防災士連絡会関係者では、2名が日本防災士会理事として選任されました。

新任となったのは、千葉県防災士連絡会で地域統括副会長を務める平山優子防災士、再任では、千葉県防災士連絡会会員の横内春三防災士(北海道選出)の2名です。

コロナ禍の日本防災士会通常総会は、安全の観点から書面による表決となりました。議案審議は第1号議案から第6号議案まで、担当役員から提案説明があり、いずれも賛成多数で承認されました。本年は役員改選期となり、第6号議案では役員選任議案として28名の理事候補者が詮議され、15名が再任、13名が新任理事として決まりました。理事の任期は2年と定められており、千葉県防災士連絡会関係者から選任された2名は、本部役員としても活躍が期待されます。なお、第6号議案議決内容は、賛成4289名、反対47名、無効25名でした。みなさんのご支持に感謝します。

平山優子防災士は、旧北部支部から日本防災士機構への推薦(取纏めは日本防災士会)で、2021年「防災士功労賞」を受賞しました。北部支部役員として地域防災力の向上に務め、男女共同参画や多様性配慮の視点で地域防災・学校防災など実践的な講演等を各地で行っているほか、令和元年台風第15号に際し、被災地で災害ボランティアセンター運営支援の活動を行ったほかの功労が評価されました。



千葉市生涯現役応援センター
セミナーで講演する平山防災士

最近では、千葉県防災士連絡会と連携協力協定を締結しているNHK千葉のFMラジオ番組に出演し、「避難情報」の変更点やコロナ禍での避難の備えについて分かりやすく伝えています。